

すべての学科教習勉強用問題2

- 問題1 本標識は、規制標識、指示標識、警戒標識、補助標識の4種類である。
- 問題2 車は、道路の状態や交通の状況にかかわらず、道路の中央から右側にはみ出して通行してはならない。
- 問題3 対面する信号が赤色の点滅の時、歩行者は他の交通に注意して進行することができるが、車は停止位置で一時停止しなければならない。
- 問題4 自動車^{じどうしゃ}の速度^{そくど}が2倍^{ばい}になると衝突^{しょうとつ}した時の衝撃力^{しょうげきりょく}も2倍^{ばい}になる。
- 問題5 交通整理^{こうつうせいり}をしている警察官^{けいさつかん}が腕^{うで}を垂直^{すいちよく}に上げた時は、全ての方向^あの交通^{とき}に対して信号機^{すべ}の黄色^{ほうこう}と同じ意味^{こうつう}である。
- 問題6 この標識^{ひょうしき}で指定^{してい}されている車両通行帯^{しゃりょうつうこうたい}からは、右折^{うせつ}することはできない。
- 問題7 第一種普通免許^{だいいっしゅふつうめんきょ}ではタクシー^{えいぎょう}などを営業^{うんてん}するための運転^{かいそう}はできないが、回送^{うんてん}のためなら運転^{かいそう}できる。
- 問題8 一方通行^{いっぽうつうこう}の道路^{どうろ}で緊急自動車^{きんきゅうじどうしゃ}に進路^{しんろ}を譲^{ゆず}る時は、必ず道路^{かなら}の左側^{どうろ}によって譲^{ひだりがわ}らなければならない。
- 問題9 交差点^{こうさてん}を左折^{させつ}する時は、あらかじめ道路^{どうろ}の左端^{ひだりはし}に寄り交差点^{こうさてん}の側端^{そくたん}に沿^そって徐行^{じょこう}する。
- 問題10 交通量^{こうつうりょう}の多い道路^{おほ}では、左側^{ひだりがわ}のドア^のから乗り降り^{のお}するほうがよい。
- 問題11 この標識^{ひょうしき}のある道路^{どうろ}では、車^{くるま}と歩行者^{ほこうしゃ}、路面電車^{ろめんでんしゃ}の通行^{つうこう}が禁止^{きんし}されている。
- 問題12 自家用^{じかよう}の大型自動車^{おおがたじどうしゃ}は、1年^{ねん}ごとに定期点検^{ていきてんけん}を実施^{じっし}し、必要な整備^{ひつよう}を受けなければならぬ。
- 問題13 発進^{はっしん}する時は、あらかじめバックミラー^{たし}などで安全^{あんぜん}を確か^{たし}めてから方向指示器^{ほうこうし}などで発進^{はっしん}の合図^{あいず}をし、もう一度^{いちど}安全^{あんぜん}を確か^{たし}めよう。
- 問題14 同一方向^{どういつほうこう}に3つ以上^{いじょう}の車両通行帯^{しゃりょうつうこうたい}がある道路^{どうろ}では、普通自動車^{ふつうじどうしゃ}は最も右側^{もっと}の車両通行帯^{みぎがわ}を通行^{しゃりょうつうこう}する。
- 問題15 オートマチック車^{しや}を駐車^{ちゅうしゃ}する時は、平地^{へいぢ}や坂道^{さかみち}にかかわらず、チェンジレバー^いを「P」に入れておくのがよい。
- 問題16 一方通行^{いっぽうつうこう}の道路^{どうろ}から交差点^{こうさてん}を右折^{うせつ}する時は、あらかじめ道路^{どうろ}の右端^{みぎはし}により交差点^{こうさてん}の中心^{ちゅうしん}の内側^{うちがわ}を徐行^{じょこう}する。
- 問題17 高速自動車国道^{こうそくじどうしゃこくどう}の本線車道^{ほんせんしやどう}を通行^{つうこう}する時は、左側^{ひだりがわ}の白線^{はくせん}を目安^{めやす}にして車両通行帯^{しゃりょうつうこうたい}のやや左寄り^{ひだりよ}を通行^{つうこう}する。
- 問題18 道路^{どうろ}の曲がり角^まから5m以内^いの場所^{ばしょ}は、駐停車禁止^{ちゅうてんしやきんし}である。
- 問題19 対面^{たいめん}する信号^{しんごう}が黄色^{きいろ}になり、安全^{あんぜん}に停止^{ていし}することができたが「止まれ」の意味^{いみ}ではないのでそのまま通過^{つうか}した。
- 問題20 この標識^{ひょうしき}は「一方通行入り口」を表^{あらわ}している。
- 問題21 自転車横断帯^{じてんしやおうだんたい}に近づいた時^{とき}の自転車^{じてんしや}の保護^{ほご}の方法^{ほうほう}は、横断歩道^{おうだんほどう}に近づいた場合^{ちか}の歩行者^{ぼあい}の保護^{ほご}の方法^{ほうほう}と同じである。
- 問題22 子ども^{こども}がひとり^{ある}で歩^あいている時^{とき}や白^{しろ}や黄色^{きいろ}のつえ^もを持った人^{ひと}が通行^{つうこう}している時は、安全^{あんぜん}な間隔^{かんかく}をあければ、一時停止^{いちじていし}や徐行^{じょこう}しなくてもよい。
- 問題23 路面電車^{ろめんでんしゃ}が停止^{ていし}していたが、安全地帯^{あんぜんちたい}があり、乗り降り^のしている人^{ひと}がいなかった^いので、そのままの速度^{そくど}で通過^{つうか}した。
- 問題24 走行中^{そうこうちゅう}にタイヤ^とがパンクした時は、ハンドル^{しず}をしっかりとにぎり、静か^ふにブレーキ^ふを踏みながら、道路^{どうろ}の左側^{ひだりがわ}に寄せて停止^{ていし}させる。
- 問題25 上り坂^{のぼ}の頂上付近^{さか}では、必ずしも徐行^{じょこう}する必要^{ひつよう}はない。
- 問題26 自転車横断帯^{じてんしやおうだんたい}に近づいた時^{とき}、横断^{おうだん}していた自転車^{じてんしや}に乗^のっている人^{ひと}がこちら^みを見て立ち止ま^たったので、徐行^{じょこう}して通過^{つうか}した。
- 問題27 道路^{どうろ}に駐車^{ちゅうしゃ}した場合^{ばあい}、車の右側^{くるま}の道路上^{みぎがわ}に3.5m以上^{どうろじょう}の余地^{いじょう}がなくなる場所^{よち}に駐車^{ちゅうしゃ}してはいけない。
- 問題28 交通事故^{こうつうじこ}の現場^{げんば}は、警察官^{けいさつかん}が到着^{とうちゃく}するまでそのまま^{ほう}にしておいた方がよいので、負傷者^{ふしやうしや}などは動か^{うご}さないようにする。
- 問題29 6歳未満^{さいいまま}の幼児^{ようじふたり}二人^{ふつうじどうしや}を普通自動車^のに乗^のせる時は、1人^{とき}にチャイルドシート^りを使用^しすれば、ほか^{しやう}の1人^りはシートベルト^ををつけて後部座席^{こうぶざせき}に乗^のせればよい。
- 問題30 この標示^{ひょうじ}は「停止禁止部分」を表^{あらわ}している。
- 問題31 後車^{こうしや}が自車^{じしや}を追い越^おそうとしている時は、追い越し^おを始めてはならない。
- 問題32 急発進^{きゅうはっしん}や急ブレーキ^{きゅうブレーキ}、急加速^{きゅうかそく}や著しく他人^{いちじる}に迷惑^{たにん}を及ぼ^{めいわく}すような騒音^{およ}を出すなどの運転^{そうおん}はしてはならない。
- 問題33 路側帯^{ろそくたい}は、歩行者^{ほこうしや}が通行^{つうこう}していない時に限り^{とき}、自動車^{じどうしや}も通行^{つうこう}してよい。
- 問題34 二輪車^{にりんしや}を運転^{うんてん}する時の服装^{とき}は、操作^{さくさ}の妨げ^{さまた}にならないように体の露出部分^{からだ}が多い軽装^{ろしゅつぷぶん}にする。
- 問題35 この標識^{ひょうしき}のある交差点^{こうさてん}を右折^{うせつ}する原動機付自転車^{げんどうきつきじてんしや}は、自動車^{じどうしや}と同じ方法^{おな}で右折^{ほうほう}する。
- 問題36 「警笛区間」^{けいひつくわん}の区間内^{くわんない}で、見通し^{みとお}の悪い曲がり角^{わる}を通行^まする時は、警音器^{けいおんき}を鳴^ならさなければならない。
- 問題37 車両通行帯^{しゃりょうつうこうたい}が黄色^{きいろ}の線^{せん}で区画^{くわく}されているところでは、車^{くるま}は黄色^{きいろ}の線^{せん}を越^こえて進路^{しんろ}を更^{へん}更^{こう}してはならない。
- 問題38 原動機付自転車^{げんどうきつきじてんしや}の積載物^{せきさいぶつ}の大きさ^{おほ}は、荷台^{にたい}の幅^{はば}や長さ^{なが}を越^こえてはならない。
- 問題39 この標識^{ひょうしき}は「横断歩道・自転車横断帯」を表^{あらわ}している。
- 問題40 高速道路^{こうそくどうろ}で自動車^{じどうしや}を運転^{うんてん}している時は、携帯電話^{けいたいでんわ}を通話^{つうわ}のために使用^ししてはならないが、一般道路^{いっぽんどうろ}で交通量^{こうつうりょう}が少^{すく}ない時は使用^ししてよい。
- 問題41 幅^{はば}の広い路側帯^{ひろ}のある道路^{ろそくたい}に駐車^{どうろ}する時は、車の左側^{ちゅうしや}に0.75m以上^{とき}の余地^{くるま}をあければ、車^{ひだりがわ}を路側帯^{いじょう}の中^{よち}に入れて駐車^なすることができる。
- 問題42 この標識^{ひょうしき}のある道路^{どうろ}では、普通自動車^{ふつうじどうしや}は最も左側^{もっと}の車両通行帯^{ひだりがわ}を通行^{しゃりょうつうこう}することはできない。



↑
黄色の線



- 問題 43 故障車をロープなどでけん引する時は、故障車との間は5m以内とし、見やすいところに0.3m平方以上の赤い布をつけておく。
- 問題 44 交通整理の行われていない優先道路に入ろうとする時は、見通しがよくその優先道路を通行している車や歩行者がいない場合は徐行する必要はない。
- 問題 45 夜間、一般道路に駐車する時は、後方から見やすいところに停止表示器材を置けば、駐車灯や尾灯等はつけなくてもよい。
- 問題 46 交差点を右折しようとした時、対向の直進・左折する車が来ていたが、先に交差点に入っていたのでそのまま右折した。
- 問題 47 踏切で車が動かなくなった時は、踏切支障報知装置のある踏切ではそれを活用して一刻も早く列車の運転士などに知らせなければならない。
- 問題 48 上り坂に駐車する時は、ギアはバックよりもローのほうがよい。(AT車を除く)
- 問題 49 制動距離とは、空走距離と停止距離を合わせた距離のことである。
- 問題 50 追い越しをする場合であっても、定められた最高速度を超えてはならない。
- 問題 51 この標識は前方に「横断歩道」があることを表している。
- 問題 52 道幅の狭い道路で対向車と行き違う時は、やむを得ないので速度を減速したり安全な間隔をあけなくてもよい。
- 問題 53 出発地の警察署長の許可を受けた時は、貨物自動車の荷台に人を乗せて運転することができる。
- 問題 54 左側部分の道幅が6m以上ある道路で、見通しもよく安全であったので、右側部分にはみ出して追い越しをした。
- 問題 55 ミニカーは、高速自動車国道は通行できないが、自動車専用道路は通行することができる。
- 問題 56 この標識が表示されている道路を、原動機付自転車でも時速50kmの速度で通行した。
- 問題 57 歩行者用道路を特に通行が認められた車が通行する時は、歩行者に十分注意して通行すれば徐行する必要はない。
- 問題 58 警察官が腕を水平に上げている時、その体に対面する車は直進できないが右折や左折はできる。
- 問題 59 昼間でもトンネルの中や濃い霧の中などで50m(高速道路では200m)先が見えないような場所を通行するときは、前照灯をつけなければならない。
- 問題 60 車に働く遠心力や制動距離は、速度が2倍になると約4倍になる。
- 問題 61 この標識は、「追い越しのための道路の右側部分はみ出し通行禁止」を表している。
- 問題 62 MTの二輪車に乗る時は、ステップに土踏まずを乗せ、足の裏が水平になるようにし、タンクを両ひざでしめる。
- 問題 63 高速自動車国道で登坂車線のあるところでは、大型貨物自動車はその車線を通行しなければならない。
- 問題 64 方向指示器が故障していたが、手による合図ができるのでそのまま運転した。
- 問題 65 雨の日の高速走行する時は、路面がすべりやすいのでタイヤの空気圧は規定より低めにする。
- 問題 66 この標識のある道路を、大型自動二輪車で通行した。
- 問題 67 安全な車間距離とは、前の車が急に停止しても追突しない距離をいう。
- 問題 68 大型自動車や中型自動車および普通自動車(三輪のものとは総排気量660cc以下のもの・公安委員会が特に認めたものを除く)に積載できる荷物の高さの制限は、地上から3.8m以下である。
- 問題 69 転回禁止の標識のある所では、交差点を右折することもできない。
- 問題 70 交差点を右折や左折する時は、青信号でも徐行しなければならない。
- 問題 71 追い越し禁止の場所でも、原動機付自転車は追い越ししてもよい。
- 問題 72 自動車専用道路で、標識などにより速度の指定のない場合の最高速度は、一般道路での法定最高速度と同じである。
- 問題 73 中型免許を受けている者は、普通自動車と大型特殊自動車を運転できる。
- 問題 74 後退する時の手による合図の方法は、腕を外に出して斜め下に伸ばす。
- 問題 75 この標識のある道路では、人の乗り降りのためであっても車を止めてはならない。
- 問題 76 大気汚染により、光化学スモッグが発生した時、または発生する恐れのある時は、車の運転は控えたほうがよい。青色
- 問題 77 シートの前後の位置は、クラッチペダルを踏み込んだ時に、膝がわずかに曲がる状態に合わせたほうがよい。
- 問題 78 70歳以上の運転者は、普通自動車を運転する時は必ず高齢者運転標識をつけなければならない。
- 問題 79 運転免許は、第一種運転免許・第二種運転免許・仮運転免許の3つに区分されている。
- 問題 80 対向車と正面衝突しそうになった時は、道路外に空き地など安全な場所があっても道路からでてはいけない。
- 問題 81 仮運転免許で運転練習する時の同乗者は、その自動車を運転できる免許を受けている期間が2年以上あればよい。
- 問題 82 内輪差とは車が右折する時に、後輪が前輪の外側を通ることをいう。
- 問題 83 路面が雨にぬれ、タイヤがすり減っている時の停止距離は、乾燥した路面でタイヤの状態のよいときに比べ、2倍程度に伸びる時もある。
- 問題 84 この標識のある道路で、交通量も少なく路線バスも通行していなかったため、その車両通行帯を通行した。
- 問題 85 夜間高速道路で故障のためやむを得ず路側帯に入って停止した時は、停止表示器材を表示するとともに非常点滅表示灯などもつけておかなければならない。

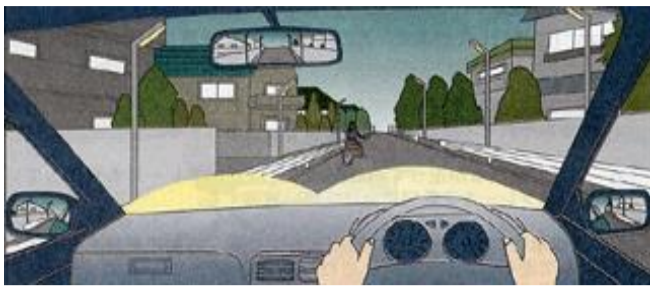


- 問題 86 進路を変更しようとする時、他に通行している車がない時は合図をしなくてもよい。
- 問題 87 自動車を運転している時は、カーナビゲーションなどの画像を注視してはいけない。
- 問題 88 車に乗ってからドアを閉める時は半ドアになる可能性があるので、手前で止めずに一気に閉めるのがよい。
- 問題 89 地震災害に関する警戒宣言が発せられ車を置いて避難する時は、できるだけ道路外の場所に移動しておくようにする。
- 問題 90 この信号に対面している場合、交差点を通行するときは徐行する。



黄色の灯火の点滅

問題 91 40Km/hで進行しています。前方にふらついている自転車が走行しています。どのようなことに注意しますか？



- ① 自転車は、自分の車の接近に気付いていると思われるので、そのまま追い抜く。
- ② 飲酒運転の自転車かもしれないので、あらかじめ右に寄って自転車が道路の中央に出てこないかを確認して追い抜く。
- ③ 自転車はふらついており、転倒するかもしれないので、早めに加速して追い抜く。

問題 92 35Km/hで進行しています。交差点を直進する時はどのようなことに注意しますか？



- ① 二輪車が左折中の乗用車を避けて自分の車の前に進路変更してくると危険なので、車間をつめて進行する。
- ② 前の乗用車や二輪車が急に止まるかもしれないので、速度を落として進行する。
- ③ 先の状況が見えないので、前の乗用車や二輪車の動きに注意しながら乗用車の右側に出て、速度を上げて進行する。

問題 93 前の車に続いて止まりました。踏切を通過する時は、どのようなことに注意しますか？



- ① 通過する時、踏切内で止まってしまう恐れがあるので、踏切の先に自分の車が入る余地のあることを確認して進行する。
- ② 対向車が来ているので、できるだけ左端に寄って通過する。
- ③ 対向車のトラックと踏切内ですれ違う時、十分な道幅がないかもしれないので前の車に続いて早めに踏切に入る。

問題 94 交差点の中をトラックに続いて5Km/hで進行しています。右折する時はどのようなことに注意しますか？



- ① トラックが右折してもすぐに続いて発進せずに対向車の状況をよく確かめてから右折する。
- ② 歩行者は、車を見落とすことはないと思われるので、歩行者に注意しながら横断歩道の中央付近を先に通過する。
- ③ トラックに続いて右折すれば安全だと思われるので、トラックが右折を始めたならその右側方に並んで右折する。

問題 95 40Km/hで進行しています。どのようなことに注意しますか？



- ① 子供が車道に飛び出してくるかもしれないので、ブレーキを数回に分けて踏んで、速度を落として進行する。
- ② 子供の横を通過する時に、対向車と行き違いと危険なので、加速して子供の横を通過する。
- ③ 子供がふざけて車道に飛び出してくるかもしれないので、中央線を少しはみ出して通過する。

全ての学科教習勉強用問題2 解答

↓ ^{りしゅうばんごう きょうしゅうこうもく お か きょうほん しら べんきょう} 履修番号を教習項目に置き換えて、教本で調べて勉強してください。

問題 1	×	履修番号 3	問題 26	×	履修番号 7	問題 51	×	履修番号 3	問題 76	○	履修番号 18
問題 2	×	履修番号 4	問題 27	○	履修番号 22	問題 52	×	履修番号 9	問題 77	○	履修番号 1
問題 3	○	履修番号 2	問題 28	×	履修番号 24	問題 53	○	履修番号 23	問題 78	×	履修番号 7
問題 4	×	履修番号 18	問題 29	×	履修番号 1	問題 54	×	履修番号 9	問題 79	○	履修番号 10
問題 5	×	履修番号 2	問題 30	×	履修番号 3・4	問題 55	×	履修番号 26	問題 80	×	履修番号 19
問題 6	○	履修番号 3・6	問題 31	○	履修番号 9	問題 56	×	履修番号 5	問題 81	×	履修番号 10
問題 7	○	履修番号 10	問題 32	○	履修番号 7	問題 57	×	履修番号 4	問題 82	×	履修番号 6
問題 8	×	履修番号 5	問題 33	×	履修番号 4	問題 58	×	履修番号 2	問題 83	○	履修番号 5
問題 9	○	履修番号 6	問題 34	×	履修番号 1・20	問題 59	○	履修番号 19	問題 84	×	履修番号 5
問題 10	○	履修番号 8	問題 35	○	履修番号 3・6	問題 60	○	履修番号 18	問題 85	○	履修番号 26
問題 11	○	履修番号 3	問題 36	○	履修番号 8	問題 61	×	履修番号 9	問題 86	×	履修番号 8
問題 12	×	履修番号 24	問題 37	○	履修番号 8	問題 62	○	履修番号 18	問題 87	○	履修番号 1
問題 13	○	履修番号 8	問題 38	×	履修番号 23	問題 63	×	履修番号 26	問題 88	×	履修番号 8 運転教本
問題 14	×	履修番号 4	問題 39	○	履修番号 3	問題 64	×	履修番号 8	問題 89	○	履修番号 19
問題 15	○	履修番号 5	問題 40	×	履修番号 1	問題 65	×	履修番号 26	問題 90	×	履修番号 2
問題 16	○	履修番号 6	問題 41	○	履修番号 22	問題 66	×	履修番号 3	問題91		
問題 17	○	履修番号 26	問題 42	×	履修番号 3	問題 67	○	履修番号 5	(1) × (2) ○ (3) ×		
問題 18	○	履修番号 22	問題 43	×	履修番号 23	問題 68	○	履修番号 23	問題92		
問題 19	×	履修番号 2	問題 44	×	履修番号 6	問題 69	×	履修番号 3・8	(1) × (2) ○ (3) ×		
問題 20	×	履修番号 3	問題 45	○	履修番号 19	問題 70	○	履修番号 6	問題93		
問題 21	○	履修番号 7	問題 46	×	履修番号 6	問題 71	×	履修番号 9	(1) ○ (2) × (3) × 左端を走行すると落輪のおそれあり		
問題 22	×	履修番号 7	問題 47	○	履修番号 6	問題 72	○	履修番号 26	問題94		
問題 23	×	履修番号 7	問題 48	○	履修番号 22	問題 73	×	履修番号 10	(1) ○ (2) × (3) ×		
問題 24	○	履修番号 19	問題 49	×	履修番号 5	問題 74	×	履修番号 8	問題95		
問題 25	×	履修番号 5	問題 50	○	履修番号 9	問題 75	×	履修番号 22	(1) ○ (2) × (3) ×		

☆見直しのポイント

不正解だった問題やわからなかった問題は、なぜ「○」なのか、なぜ「×」なのかを学科教本を使って理解できるまで勉強しましょう。→問題で覚えると、問題文が変わるとわからなくなります。